

【問題】ことわざの意味を当てよう！

次の(1)～(30)のことわざに合う意味を、選択肢【A】～【AD】の中から選んで記号で答えてください。

- | | |
|---------------------------------|--|
| (1) 石の上にも三年 | 【A】 揉め事のあとは、かえって前より良い状態になること。 |
| (2) 犬も歩けば棒に当たる | 【B】 良いと思ったことは、ためらわずにすぐ実行するべき。 |
| (3) 猿も木から落ちる | 【C】 その土地に行ったら、そのルールに合わせるべき。 |
| (4) とらぬ狸の皮算用
(とらぬたぬきのかわざんよう) | 【D】 狹い世界に閉じこもり、広い世界のことを何も知らない。 |
| (5) 百聞は一見にしかず | 【E】 手に入る前から、それをあてにして計画を立てること。 |
| (6) 塵（ちり）も積もれば山となる | 【F】 見かけよりも、食べ物や役立つものを大切にすること。 |
| (7) 失敗は成功のもと | 【G】 つらくても辛抱強く続ければ、いつかは報われる。 |
| (8) 三人寄れば文殊（もんじゅ）の知恵 | 【H】 理屈を並べるより、証拠を見せるのが一番早い。 |
| (9) 馬の耳に念仏 | 【I】 身近なことは、かえって気づきにくいものである。 |
| (10) 急がば回れ | 【J】 一つのこと集中せず欲張ると、結局どちらも失敗する。 |
| (11) 善は急げ | 【K】 最後の結果さえよければ、途中の苦労は問題にならない。 |
| (12) 終わりよければすべてよし | 【L】 凡人でも三人集まって相談すれば、良い知恵が出る。 |
| (13) 郷（ごう）に入っては郷に従え | 【M】 困っているときに、ちょうど都合の良いことが起こる。 |
| (14) 可愛い子には旅をさせよ | 【N】 わざかなものでも積み重なれば、大きなものになる。 |
| (15) 嘘も方便（ほうべん） | 【O】 どんな名人でも、時には失敗することがある。 |
| (16) 情けは人のためならず | 【P】 何度も人から聞くより、一度自分の目で見る方がわかる。 |
| (17) 雨降って地固まる | 【Q】 何か行動を起こせば、思いがけない幸運や災難にあう。 |
| (18) 棚からぼた餅 | 【R】 人に親切にすれば、巡り巡って自分に返ってくる。 |
| (19) 二兎（にと）を追う者は一兎をも得ず | 【S】 強い者がさらに強い味方や武器を得て、無敵になること。 |
| (20) 花より団子 | 【T】 目立つ人は、他人から反感を買ったり邪魔されたりする。 |
| (21) 泣きっ面に蜂（なきっつらにはち） | 【U】 無理に争って勝つよりも、相手に譲った方が得をする。 |
| (22) 井の中の蛙（かわづ）大海を知らず | 【V】 悪いことが起きているときに、さらに悪いことが重なる。 |
| (23) 鬼に金棒 | 【W】 いくら意見を言っても、相手に全く効き目がないこと。 |
| (24) 渡りに船 | 【X】 思いがけない幸運が、向こうから舞い込んでくること。 |
| (25) 論より証拠 | 【Y】 急いでいるときほど、近道より確実な遠回りを選ぶべき。 |
| (26) どんぐりの背比べ | 【Z】 日頃から準備すれば、いざという時に心配せずに済む。 |
| (27) 灯台下（とうだいもと）暗し | 【AA】 どれも似たり寄ったりで、特別優れた者がいないこと。 |
| (28) 負けるが勝ち | 【AB】 嘘をつくことは良くないが、物事をスムーズに進めるためには必要なこともある。 |
| (29) 出る釘（くぎ）は打たれる | 【AC】 子供が可愛いなら、世の中の苦労を経験させるべきだ。 |
| (30) 備えあれば憂い（うれい）なし | 【AD】 失敗しても、反省して次に活かせば成功につながる。 |

【解答】

- (1) — G (石の上にも三年)
- (2) — Q (犬も歩けば棒に当たる)
- (3) — O (猿も木から落ちる)
- (4) — E (捕らぬ狸の皮算用)
- (5) — P (百聞は一見にしかず)
- (6) — N (塵も積もれば山となる)
- (7) — AD (失敗は成功の基)
- (8) — L (三人寄れば文殊の知恵)
- (9) — W (馬の耳に念仏)
- (10) — Y (急がば回れ)
- (11) — B (善は急げ)
- (12) — K (終わりよければすべてよし)
- (13) — C (郷に入っては郷に従え)
- (14) — AC (可愛い子には旅をさせよ)
- (15) — AB (嘘も方便)
- (16) — R (情けは人のためならず)
- (17) — A (雨降って地固まる)
- (18) — X (棚からぼた餅)
- (19) — J (二兎を追う者は一兎をも得ず)
- (20) — F (花より団子)
- (21) — V (泣きっ面に蜂)
- (22) — D (井の中の蛙大海を知らず)
- (23) — S (鬼に金棒)
- (24) — M (渡りに船)
- (25) — H (論より証拠)
- (26) — AA (どんぐりの背比べ)
- (27) — I (灯台下暗し)
- (28) — U (負けるが勝ち)
- (29) — T (出る釘は打たれる)
- (30) — Z (備えあれば憂いなし)

【問題】ことわざの意味を当てよう！

次の(1)～(30)のことわざに合う意味を、選択肢【A】～【AD】の中から選んで記号で答えてください。

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| (1) 海老（えび）で鯛（たい）を釣る | 【A】 気が合わない、非常に仲が悪いこと。 |
| (2) 弘法（こうぼう）にも筆の誤り | 【B】 優れた技術を持つ人は道具の良し悪しを問題にしない。 |
| (3) 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥 | 【C】 わざかな元手で、大きな利益を得ることのたとえ。 |
| (4) 亀の甲（かめのこう）より年の功 | 【D】 價値のわからない人に貴重なものを与えても無駄である。 |
| (5) 弘法（こうぼう）筆を選ばず | 【E】 専門家に、わざわざ教えを説くような愚かさのこと。 |
| (6) 紺屋（こうや）の白袴（しろばかま） | 【F】 自分のためになる忠告や指摘は、素直に聞きにくい。 |
| (7) 釈迦（しゃか）に説法（せっぽう） | 【G】 二つのものの違いが大きすぎて、比較にならないこと。 |
| (8) 住めば都 | 【H】 不意の出来事に、ひどく驚くことのたとえ。 |
| (9) 袖振り合うも多生（たしょう）の縁 | 【I】 他人の世話を忙しく、自分のことまで手が回らないこと。 |
| (10) 月とすっぽん | 【J】 年長者が長年積み重ねてきた経験は、尊く貴重である。 |
| (11) 飛んで火に入る夏の虫 | 【K】 その道の名人であっても、たまには失敗することがある。 |
| (12) 雀（すずめ）の涙 | 【L】 知らないことを聞くのは一瞬恥ずかしいが、聞かないまま |
| (13) 類（るい）は友を呼ぶ | だと一生恥をかく。 |
| (14) 柳の下にいつも泥鰌（どじょう）はい | 【M】 子供の頃の性格は、年をとっても変わらない。 |
| (15) 豚に真珠 | 【N】 手応えが全くなく、何の効き目もないこと。 |
| (16) 薮（やぶ）から棒 | 【O】 わざかな努力や援助では、全く効果がないこと。 |
| (17) 二の句が継げない | 【P】 噂が立つからには、必ず何かしらの原因があるものだ。 |
| (18) ぬかに釘（くぎ） | 【Q】 自ら進んで、災いの中に飛び込んでいくこと。 |
| (19) 念には念を入れよ | 【R】 むさ苦しい場所に不似合いなほど優れた人が現れること。 |
| (20) 寝耳に水 | 【S】 あまりに驚いたり呆れたりして、言葉が出てこない。 |
| (21) 掃（は）きだめに鶴（つる） | 【T】 今は状況が悪くても、待てばいつかチャンスが来る。 |
| (22) 馬脚（ばきやく）をあらわす | 【U】 前触れもなく、突然に物事が起きること。 |
| (23) 火の無い所に煙は立たぬ | 【V】 隠していた本当の姿や、悪事がバレてしまうこと。 |
| (24) 犬猿（けんえん）の仲 | 【W】 とんでもないところから、意外なものが出てくること。 |
| (25) 瓢箪（ひょうたん）から駒（こま） | 【X】 人を連れ戻しに行った人が、帰ってこなくなること。 |
| (26) 待てば海路の日和（ひより）あり | 【Y】 一度上手くいったからといって、次も同じとは限らない。 |
| (27) ミイラ取りがミイラになる | 【Z】 ほんのわずかしかない、ごく少量のもののたとえ。 |
| (28) 三つ子の魂（たましい）百まで | 【AA】 すれ違いのような出会いも、深い縁がある。 |
| (29) 焼け石に水 | 【AB】 不便な場所でも、住み慣れればそこが一番良く思える。 |
| (30) 良薬（りょうやく）は口に苦し | 【AC】 似た者同士は、自然に集まり合うものである。 |
| | 【AD】 注意した上にも、さらに注意を重ねて確認すること。 |

【解答】

- (1) — C (海老で鯛を釣る)
- (2) — K (弘法 (こうぼう) にも筆の誤り)
- (3) — L (聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥)
- (4) — J (亀の甲より年の功)
- (5) — B (弘法筆を選ばず)
- (6) — I (紺屋の白袴)
- (7) — E (釈迦に説法)
- (8) — AB (住めば都)
- (9) — AA (袖振り合うも多生の縁)
- (10) — G (月とすっぽん)
- (11) — Q (飛んで火に入る夏の虫)
- (12) — Z (雀の涙)
- (13) — AC (類は友を呼ぶ)
- (14) — Y (柳の下にいつも泥鰌はいない)
- (15) — D (豚に真珠)
- (16) — U (藪から棒)
- (17) — S (二の句が継げない)
- (18) — N (ぬかに釘)
- (19) — AD (念には念を入れよ)
- (20) — H (寝耳に水)
- (21) — R (掃きだめに鶴)
- (22) — V (馬脚をあらわす)
- (23) — P (火の無い所に煙は立たぬ)
- (24) — A (犬猿の仲)
- (25) — W (瓢箪から駒)
- (26) — T (待てば海路の日和あり)
- (27) — X (ミイラ取りがミイラになる)
- (28) — M (三つ子の魂百まで)
- (29) — O (焼け石に水)
- (30) — F (良薬は口に苦し)